



日本共産党 狛江市
生活教育相談室長
市議予定候補

荒木てつ

あらき 徹

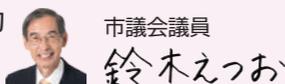
狛江で育ち 教師33年

鈴木えつお議員
からバトンタッチ



鈴木えつお議員(左)と握手する荒木てつさん

荒木さんは早朝駅頭宣伝を継続し生活相談に真剣に取り組むなど、温厚な人柄の中に芯の強さを持っており、市民要望実現に力をつくしてくれる人です。



市議会議員
鈴木えつお

【略歴】1962年世田谷区生まれ。3歳の時に猪方へ●いずみ幼稚園通園、狛江市立三小・二中、桐蔭学園高校、東京理科大学卒業●都内私立学校に数学教師として33年余勤務。職場で教職員組合結成、委員長などを務める●狛江探鳥会会員。平和憲法を広める狛江連絡会世話人●家族は妻と長女。趣味はバードウォッチング、カブトムシ飼育、ボクシング観戦

民報こまえ

発行：日本共産党狛江市委員会 岩戸北 1-10-6 甲武ビル1階 3488-2977
2023年4月 日本共産党狛江市委員会は見解を発表しました。



「防災無線が聞こえない」という声が寄せられ、鈴木えつお議員とともに防災ラジオの利用拡大を市に要請=2022年10月31日、市議会内



学校給食費の無償化を求める東京都への要請行動で発言する荒木てつ氏(手前左端)=2022年11月7日、都議会内



南部地域の交通利便の改善について住民と一緒に交渉する荒木てつ氏(右から2人目)と鈴木えつお議員(その左)=2022年11月14日、市議会内



鈴木えつお議員の活動をひきつぎ、狛江駅と和泉多摩川駅で毎朝駅頭で宣伝活動

市民の願い実現に全力

荒木てつは みなさんと力あわせて 実現します

- 学校給食費の完全無償化
- ひとり親家庭・若者に家賃補助
- 18歳までの医療費完全無料化
- 豪雨地震対策、防犯対策の強化
- 教職員の増員と30人学級実現
- 猪方樋管に排水ポンプ早期実現
- 子どもの権利条例の制定
- 気候危機打開、ジェンダー平等
- 市内中学校に難聴学級を開設
- 狛江調布保健所の復活
- 国保・介護・医療の負担軽減
- 中央図書館を現在地で充実
- 難聴者への補聴器購入費助成
- 南部地域の交通利便の改善

荒木さんに期待します



日本共産党
参議院議員
山添 拓



元狛江市長
矢野 ゆたか



和光大学
名誉教授
荒木 繁



荒木てつ
なんでも相談



【連絡先】 自宅：狛江市猪方 3-14-14
☎3480-5047 携帯電話：090-2447-4072
メール：techiemi-a@softbank.ne.jp



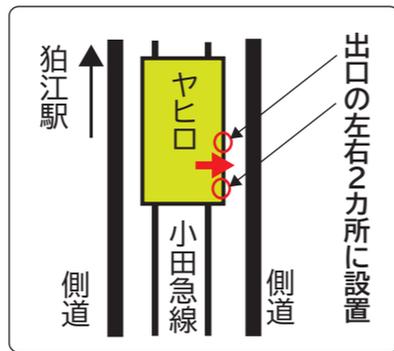
荒木てつの活動は鈴木えつおのHPで

荒木てつー市民要求実現に大奮闘

日本共産党の生活教育相談室長の荒木てつ氏は、鈴木えつお議員とともに、この間、市民要求実現に大奮闘してきました。その一端を紹介します。



ヤヒロにカーブミラー設置



3月の中旬、和泉多摩川駅のスーパー・ヤヒロの出口の左右2カ所にカーブミラーが設置されました。これは日本共産党市議団のアンケートに寄せられた市民からの要望でした。

1月21日、荒木てつ氏は、鈴木えつお議員とともに、スーパー・ヤヒロを訪れ、店長にカーブミラー設置を要望。店長は「本部と相談したい」と述べていました。

防災ラジオ利用拡大、来年度実施へ



昨年10月、岩戸南に住む市民から「防災行政無線が聞こえない。家の中で防災行政無線が聞こえる防災ラジオを利用できるようにしてほしい」という要望が寄せられました。

荒木てつ氏は早速、鈴木えつお議員とともに防災ラジオの利用拡大について市に申し入れ、一般の市民も利用できる仕組みをつくってほしいと求めました（写真）

担当課長は、今後の利用の拡大について「再来年度に実施できるように検討していく」と答え、利用拡大が実現の方向となりました。

南部地域の交通利便 小田急バス本社と交渉

- 南北直通のバス路線を
- 渋谷行きバスの増便を
- こまバスと喜多見団地行バスの時刻の重なり解消を



日本共産党市議団は3月8日、仙川駅近くにある小田急バス本社を訪れバス路線の改善について申し入れました。荒木てつ氏も鈴木えつお議員とともに参加しました（写真）。

荒木てつ氏は、慈恵病院に通院している高齢者から南北直通のバス路線の要望が寄せられていると、して改善を求めました。

小田急バス側は「乗客がコロナ前に戻っていない」「運転手の確保が困難」など述べ具体的な回答をさせませんでした。

ひきつづき改善を求めてがんばります。

供養塚公園に明るい街路灯の設置実現



防犯カメラも設置の方向

1月末に駒井町の住民から「先日、強盗殺人という痛ましい事件が身近で起き、恐々と過ごす日々です。供養塚児童公園は、実に多くの色々な人が往来する公園です。にも関わらず街灯が少なく、夜は暗闇に包まれている」として明るい街路灯と防犯カメラの設置を要望されました。

荒木てつ氏と鈴木えつお議員はその方を訪問、お話しを伺い、現場を見て回りました。その結果、街路灯は全体として暗い感じでした。

2月10日、鈴木えつお議員が担当課長に申し入れました。課長は「防犯カメラの設置を検討する。明るい街路灯の設置も検討する」と答えました。

ひきつづき安心安全のまちづくりをすすめるために頑張ります。

荒木てつが 市政にたつ

日本共産党
狛江市生活教育相談室長
市議予定候補



教育現場33年の経験を生かし

市民と子ども笑顔輝く狛江に

鈴木えつお市議からバトンタッチする荒木てつさんは、教育現場での情熱と経験を、すべにでも市政の場で発揮して、市民のために働ける人です。

楽しくわかる授業、生徒の自主性尊重

に心を砕くー狛江の教育充実にすぐ働ける人



都内の私立学校の数学の教師として33年。楽しくわかる授業を行なうにどうしたらいいか、他校の先生たちとも交流しながら、日々の授業に心を砕いてきました。堀尾輝久さんや伊藤真さんなどの著作や組合活動から、人権の大

切さを学び、生徒の自主性を尊重するよう努めました。生徒の信頼も厚く「クラスの雰囲気」が明るく楽しかった。などの言葉が寄せられていま



生徒たちが作ったアルバム

良い教育には働く環境の改善をと組合をしくり前進
ー市民の願いをまっすぐ届ける人

他校の先生たちと交流する中で、良い教育をするには、職場の環境を良くしなければならぬと痛感するようになり、仲間と労働組合を結成、理事者側が勝手に改ざんした俸給表を元に戻させ、4年分の未払い

賃金を払わせたり、産休についても、産前6週間だったのを8週間に改善させたりしました。

「平和な未来を子どもたちに」を胸に平

和運動へー理想に向かってぶれない人

子どもたちに、平和な未来を残すには、平和憲法を守る。一度と戦争を起さなくてはならないと強く思い、一貫して反戦平和を貫いてきたのが日本共産党と知り、入党しました。狛江市では、「平和憲法を

広める狛江連絡会」で活動しています。

がおびやかされています。狛江市でも、国保税の大幅値上げや、市民参加条例のルールを守らず中央図書館の分割・移転が強行されようとしています。

私は、不正を許さず、命と暮らしを守り、市民が主役の市政へ、全力で頑張る決意です。

日本共産党
狛江市生活教育相談室長 荒木てつ



「安倍元首相の国葬反対」「さよなら戦争・原発」集会に娘さん(右)と参加(2022年9月19日、代々木公園)

困っている人をほっとけない荒木さん
親身の相談に徹する人です



元同僚
吉田 孝則

荒木さんとは職場で一緒にいましたが、弱い立場の人や困っている人を放っておかず、親身かつ真剣に相談に乗る姿を幾度も目にしてきました。

曲がったことが大嫌いで、権力にも屈しません。市政の場での活躍を心から期待します。

鈴木えつお市議からのバトンタッチで市政に挑戦する荒木てつです。

狛江で育ち、教師33年。楽しくわかる授業、子どもの自主性を大事にする教育、教育環境改善をめざす組合活動にとりくんできました。平和憲法を広める地域の運動にも参加し、日本共産党員として、社会をよくする理想に燃えて生きてきました。

いま岸田内閣のもとで、くらしと平和、民主主義

狛江で育ち教師歴 33 年 鈴木えつお議員からバトンタッチ 教育環境の充実、暮らし平和、人権守る



日本共産党 狛江市生活教育相談室長

荒木てつ

あらき 徹

●三小・二中で学ぶ



お母さんにだっこされる荒木さん

義をして子どもたちを喜ばせてきました。

●中学で数学の魅力に目覚め先生に

中学校で数学の魅力に目覚め、数学の本を一生懸命読んだり、自分で問題を作って解いて得意になっていました。数学が好きで、大学も数学が学べる東京理科大学の数学科に入学しました。

荒木てつさんはの生まれは世田谷区。3歳の時に猪方に越してきました。保険会社に勤める父親の転勤で、短期間狛江を離れることはありましたが、ずっと狛江市の住民です。いずみ幼稚園、狛江第二小学校、第二中学校です。高校は小田急線を通える神奈川県桐蔭学園高校でした。東京理科大学を卒業、現在まで、都内の私立中学校の数学教師を務めてきました。

●虫や鳥が大好き「トンボ捕りの名人」



小さい頃から動物を飼ったり、昆虫を捕まえることが大好きでした。動物や昆虫の知識が豊富で、同僚の先生から「こ

の虫は何という虫なのか?」とか「あの鳥は何という鳥なのか?」などをよく聞かれました。今でも毎年カブトムシの飼育をしています。自称「トンボ捕りの名人」です。

時間が取れるときは狛江探鳥会にも参加しています。「荒木さんが参加すると、見つかる鳥の種類が増える」と言ってもらえます。学校のホームルームの時間に、アリの穴とセミの幼虫が出てきた穴の違いは...など、動物談



と交流しながら、日々の授業に心を砕いてきました。



生徒達が作ってくれたアルバム

●良い教育には働く環境を良くしないと組合結成

他校の先生たちとの交流の中で、良い教育をするには、職場の働く環境を良くしなければならぬと痛感するようになり、有志で労働組合を結成、理事者側が勝手に改ざんした俸給表を元に戻させ、4年分の未払い賃金を払わせたり、産前産後の休暇についても、産前6週間だったのを8週間に改善させたりしました。

●ブラック校則に疑問、生徒の自主性を尊重

組合を作ってから人権感覚が鋭



黒板の前で生徒達と

くなたたか感じます。生徒の人権を侵害する「ブラック校則」が問題になって

校の校則についても生徒の人権をまともに考えているのかと疑問を持つようなものがたくさんありました。そのようなおかしな校則に違反した生徒に対しては、自分の判断で、学校が決めている罰則を科すようなことはしませんでした。何についても、生徒の自主性を尊重してきました。「クラスの雰囲気明るく楽しい」といってきた生徒もいました。

●「子どもたちに平和な未来を」と日本共産党入党

組合を作った加盟したが、東京私立学校教職員組合連合。「教職員の生活と権利を守る」「豊かな私学教育を創造する」「子どもたちに差別のない平和な世界、明るい未来をつくる」を掲げ運動しています。学校には競争原理が否応なく入ってきます。子どもたちの置かれている環境は、将来が見えない状況です。特に、憲法を変えて、戦争をする国づくりが、安倍政治によって進められていました。子どもたちに、平和な未来を残すには、憲法を守り、二度と戦争を起させないこと。荒木さんは、一貫して反戦平和を貫いてきたのが日本共産党と知り、日本共産党に加わりました。

「子どもたちのために平和憲法を守る」が活動の原点です。狛江市では、「平和憲法を広める狛江連絡会」で活動しています。そして、鈴木えつお議員の活動を引き継ぎ、教育の充実、暮らし平和、人権を守るための奮闘しています。